



内閣府

解	新聞・テレビ・ラジオ
禁	平成30年10月15日

入札監視委員会の審議概要について

記者発表資料

沖縄総合事務局開発建設部 入札監視委員会(平成30年度第2回)が、平成30年9月18日(火)に沖縄総合事務局において開催されました。
審議内容は別紙のとおりです。

平成30年10月15日

沖縄総合事務局

記者発表

沖縄総合事務局記者クラブ

【問い合わせ先】

沖縄総合事務局開発建設部管理課 契約管理官 金田 好章

契約第一係長 琴岡 稔幸

代表 098-866-0031 (内線 2356・2526)

直通 098-866-1981

沖縄総合事務局開発建設部 入札監視委員会(平成30年度第2回) 審議概要

開催日及び場所	平成30年9月18日(火) 沖縄総合事務局 4階 事業審査室		
委員	委員長 小倉 暢之 (琉球大学工学部教授) 委員 鈴木 啓子 (税理士) 委員 田村 ゆかり (弁護士) 委員 仲地 健 (沖縄国際大学産業情報学部教授) (委員は50音順:敬称略)		
審議対象期間	平成30年4月1日～平成30年6月30日		
抽出案件	総件数 5 件	(備考)	
工事	一般競争 (政府調達)	1 件	○ 入札・契約の状況等、工種別発注状況等並びに指名停止・再度入札の発生状況について報告を行った。
	一般競争	1 件	
	公募型指名競争	0 件	
	工事希望型競争	0 件	
	通常指名競争	0 件	
	随意契約	0 件	
建設コンサルタント業務等	2 件		
役務の提供等及び物品の製造等	1 件		
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし		

(別紙)

意見・質問	回答
定例報告	
1 入札・契約に関する状況等	
○ 平均落札率に上昇傾向が見られるが、何が要因として考えられるか。	・ 調査基準価格の上昇傾向に連動しているのではと考えられる。
2 対象期間における発注案件について	
○ 各案件の競争参加者が何者いるかは、各入札参加者が知っている情報なのか。	・ 競争参加者の数を知ることはできない。
3 指名停止措置の運用状況	
4 再度入札における工事別一位不動状況	
5 一者入札推移	
抽出事案	
1 工事	
◆ 那覇空港取付誘導路等舗装工事	
○ 1者応札の理由をどう考えているか。	・ 事前の調査では参加資格対象業者は一定数確認できていたが、書類の提出期限が年度末等の要因もあって配置予定技術者の確保ができなかったと思われる。
◆ 平成30年度 海岸遊歩道改修工事	
○ 配置予定技術者の経験が無いとして参加資格が欠格だった業者がいるが、入札説明書等の記載は適切だったのか。	・ 発注者の求めた工事経験の錯誤や書類不備によるもので、6者中5者は問題なかったこともあり、適切であったと考えている。
2 建設コンサルタント業務等	
◆ 那覇港水質監視調査業務	
○ 低い価格で落札した事情と、業務履行状況は如何か。	・ 評価の低い業者が今後の実績作りのために当該価格で応札したのだと思われる。業務の履行に問題は見受けられていない。
◆ 平成30年度ETC2.0データ活用検討業務	
○ 特定された者と2位の者の評価点の差が小さいが、どのようなところが特定の理由になったのか。	・ 特定された業者は他者に比べ、沖縄特有の県民の行動パターン等、テーマに対する理解度がより高い技術提案となっていた。
3 役務の提供等及び物品の製造等	
◆ ブラシ式路面清掃車交換購入	
○ 結果1者応札となったが、資格要件についてどう考えているか。	・ 現状でも相当程度要件を緩和しているつもりだが、沖縄は隣県がないという特殊性もあり一者応札となってしまったところ。今後の方策として工期設定を工夫するなど考えられる。